



# 第5次和泉市総合計画 これまでの主な取組



令和7年10月

まちづくりの目標 1	子どもたちの笑顔があふれ、健康で文化的な、人にやさしいまち
重点施策 2	子どもたちの健やかな発育の支援

## 01 こども医療費助成の拡充

こども医療費助成の対象年齢を年度末年齢18歳まで拡充しました

### 事業名等

こども医療費助成拡充事業

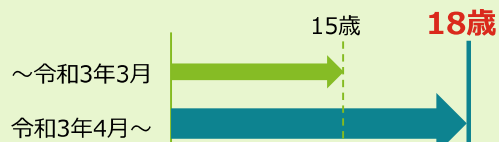
### 目的

- 子どもの健やかな成長と子育て世帯の経済的負担の軽減により、児童福祉の向上を図る

### 事業の概要

- こども医療費助成制度とは、健康保険証などを使って病院などにかかったときの保険適用の医療費の一部を公費で負担する制度です。
- 令和2年度までは、助成の対象者は15歳までのこどもになっていましたが、令和3年度から、対象者を18歳までのこどもに拡充しました。

【対象者拡充イメージ】



対象者拡充により、高校生までがこども医療費助成の対象となりました



まちづくりの目標 1	子どもたちの笑顔があふれ、健康で文化的な、人にやさしいまち
重点施策 6	社会の変化に対応できる生きる力を育む人づくり



## 02 施設一体型義務教育学校（小中一貫校）の整備

和泉市に住む子どもたちの学力向上と豊かな心の育成をめざし、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）を整備しました



事業名等	南松尾はつが野学園整備事業 槇尾学園整備事業	【南松尾はつが野学園】 	平成29年に、南松尾はつが野学園を開校し、4年・3年・2年の学年区切りによる学校教育を行っています
目的	■ 義務教育9年間を見通した指導を行い、 <b>確かな学力を身に付けた心豊かな子どもの育成</b> をめざし、施設一体型義務教育学校（小中一貫校）を整備する		
事業の概要	■ <b>和泉市内で初の施設一体型義務教育学校（小中一貫校）である南松尾はつが野学園</b> を平成29年に開校しました。 ■ また、和泉市内で2校目の一体型小中一貫校である <b>槇尾学園</b> を整備し、 <b>令和7年4月</b> に開校を迎えました。	【槇尾学園】 	令和7年4月に槇尾学園が開校しました。

まちづくりの目標 1	子どもたちの笑顔があふれ、健康で文化的な、人にやさしいまち
重点施策13	元気に生涯活躍できる環境づくりの推進



## 03 高齢者おでかけ支援チケット

高齢者の健康づくりや公共交通の利便性向上に資するため、75歳以上の高齢者に3,000円分の「おでかけ支援チケット」を配布しました

事業名等	高齢者おでかけ支援事業	【おでかけ支援チケット】を使って、 <b>快適生活を始めよう！</b> 「和泉市高齢者おでかけ支援チケット」のご案内 	【おでかけ支援チケット】が使えるようになりました。 和泉シティプラザでも、和泉市高齢者おでかけ支援チケットの配布、利用の案内、相談の受付を行います。 利用の案内、相談の受付は、和泉市高齢者おでかけ支援センターにて、チケットの配布も受け付けています。 【おでかけ支援チケット】の配布期間：令和6年7月7日（月）～令和6年8月25日（金）まで 【おでかけ支援チケット】の配布場所：和泉市高齢者おでかけ支援センター 【おでかけ支援チケット】の配布時間：令和6年7月7日（月）～令和6年8月25日（金）まで 【おでかけ支援チケット】の配布場所：和泉市高齢者おでかけ支援センター 【おでかけ支援チケット】の配布時間：令和6年7月7日（月）～令和6年8月25日（金）まで
目的	■ タクシーやバスの利用料金の助成により、 <b>高齢者の積極的な社会参加、健康づくり及びおでかけの促進</b> をめざす		
事業の概要	■ 75歳以上の高齢者を対象に、タクシーやバスなどの公共交通機関で利用できる、 <b>3,000円分の「おでかけ支援チケット」</b> を配布しました。 ■ 令和6年度からは <b>デマンド型乗り合いバス「チョイスコ和泉」</b> や、 <b>「和泉シティプラザ」でも利用</b> できるようになるなど、利用の幅を広げました。	【チョイスコ和泉】 	バスやタクシーだけでなく、寄席の講演や映画上映の入場料にも使えるようになりました。

まちづくりの目標 1	子どもたちの笑顔があふれ、健康で文化的な、人にやさしいまち
重点施策15	住み続けたいくなる快適な都市環境の整備



## 04 駅周辺の利便性向上

和泉中央駅周辺や北信太駅前の整備により、便利で安全なまちづくりを進めています

事業名等	和泉中央駅周辺整備事業 北信太駅前整備事業
目的	■ 駅周辺の交差点改良や道路整備により、 <u>駅回りの渋滞対策やアクセス向上、バリアフリー化</u> をめざす
事業の概要	<p>■ 令和3年に、<u>和泉中央駅周辺の渋滞対策として交差点改良</u>を行ったほか、駅利用者の<u>安全確保のための駅前広場の改修</u>を行いました</p> <p>■ 平成31年に、「<u>使いやすく住みやすい和泉市北の玄関口のまちづくり</u>」をコンセプトに北信太駅前整備基本計画を策定し、駅前整備を進めています。</p>

【和泉中央駅周辺】

バスターミナル

一般車乗降場



↑一般車両とバスの乗降場所を分けるなど駅利用者の安全性を確保するため、駅前広場の改修に取り組みました。

【北信太駅前】



←北信太駅へのアクセスを円滑にする道路整備のほか、バリアフリーに配慮した駅前広場整備に取り組みます。

※本イメージパースは計画案であり、今後、関係各機関との協議により変更となります。

まちづくりの目標 2	まちの個性を伸ばし、新たな魅力と賑わいが創出されるまち
重点施策22	安定した雇用の創出と次代の担い手の育成



## 05 奨学金返還支援制度

和泉市に定住・就職する学生等に対し、最大72万円の奨学金の返還を補助します

事業名等	奨学金返還支援制度
目的	■ 奨学金の返済補助により、 <u>和泉市内企業の若者人材の確保や和泉市への定住促進</u> を図る
事業の概要	<p>■ 奨学金を借りている30歳未満の若者に対し、<u>和泉市への居住、和泉市内の企業への就職を条件に、最大72万円の奨学金の返済の補助</u>を行っています。</p> <p>■ 令和2年度から、<u>補助の対象者を高校卒業生まで拡充</u>しました。</p>

【制度説明パンフレット】



## 06 宿泊事業者への補助金

ホテル・旅館事業者への優遇制度により、和泉市への立地を促し、まちの活性化に取り組んでいます

### 事業名等

ホテル・旅館事業者補助事業

### 目的

- まちの賑わい創出と都市機能の充実により、市内経済の活性化と市民福祉の向上をめざす

### 事業の概要

- 平成27年に「和泉市ホテル・旅館の誘致に関する条例」が可決され、ホテル・旅館事業者の和泉市への立地の支援を始めました。
- 現在、本支援により、ルートイン大阪和泉-岸和田和泉インター、ルートイン大阪和泉府中の立地に成功し、ビジネスの拠点として活用されているほか、市内観光の拠点としての役割も期待されています。

【ルートイン大阪和泉-岸和田和泉インター】



【ルートイン大阪和泉府中】



## 07 和泉市立総合医療センター開設

医師不足、施設の老朽化、慢性的な赤字という3つの課題を抱えていた和泉市立病院に指定管理者制度を導入し、平成30年度に和泉市立総合医療センターを開設しました

### 事業名等

和泉市病院事業の改革

### 目的

- 新病院の開設により、市民から信頼される病院づくりを推進し、地域医療の充実に寄与する

### 事業の概要

- 平成30年度に和泉市立総合医療センターを開設し、救急医療の再開、施設の老朽化の解消、慢性的な赤字体質からの脱却を図ることができました。
- 令和6年3月には和泉市立総合医療センター経営強化プランを策定し、さらなる市民の医療サービス向上に取り組んでいます。

【和泉市立総合医療センター】



○ 収支の推移 (単位：百万円)

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
▲2,114	▲335	▲207	▲4	40	1,154	818	2,217	2,553	2,172	—

↑指定管理者制度の導入、新病院の開設により、和泉市病院事業の慢性的な赤字体質から脱却することができました

## 08 消防本部・中央消防署整備

令和2年度に中央消防署を開設し、市内の消防体制の充実・強化を行いました。また、令和6年には消防本部・和泉消防署の移転・建替を行いました

### 事業名等

消防本部・消防署、中央消防署  
整備事業

### 目的

- 災害活動拠点としての機能を備えるとともに、迅速な市内各地の消防・救急活動現場へのアクセスを実現する

### 事業の概要

- 令和2年、中・南部地域の防災力強化を図るため、中央消防署を開署しました。
- 消防体制の充実強化として、令和6年、旧市立病院跡地に消防本部の移転・建替を行ったほか、堺市との通信指令業務の共同運用もスタートさせました。

### 【消防本部・消防署、中央消防署】



## 09 手話言語・コミュニケーション促進条例の制定

和泉市手話言語の理解及び普及並びに豊かなコミュニケーションの促進に関する条例を制定しました

### 事業名等

手話言語・コミュニケーション促進条例の  
制定

### 目的

- 手話が言語であることを理解し、手話の普及をめざすとともに、障がい特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境の整備を行う

### 事業の概要

- 平成31年3月に、障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段についての理解促進のため、条例を制定しました。
- 令和元年7月には条例の周知のためのリーフレットを発行し、市民の皆様へ手話など障がい特性に応じた多様なコミュニケーション手段の理解促進・普及を行っています。

### 【手話言語・コミュニケーション促進条例リーフレット】



## 10 市営住宅の整備（和泉中央住宅）

老朽化が著しい市営住宅の集約建て替えを行い、今後の施設維持管理等の費用削減と魅力あるまちづくりに取り組みました

### 事業名等

市営住宅の集約建て替え

### 目的

- 老朽化していた市営住宅の集約建て替えにより、公共施設の適正配置を図り、魅力あるまちづくりをめざす

### 事業の概要

- 市営の木造住宅は、主に昭和20年代から30年代にかけて整備された住宅で、既に耐用年数を超過していたことから和泉中央住宅へ集約建て替えを行いました。
- 複数の市営住宅を集約することや、管理戸数ではなく入居戸数分の建設としたことにより、将来の維持管理コストを削減しました。

【和泉中央住宅】



旧唐国住宅、横山住宅、松尾寺住宅、春木住宅、池上住宅、伯太第二改造住宅の6つの市営住宅を1つの和泉中央住宅に集約しました

## 11 庁舎整備事業

令和3年度に市役所新庁舎棟が竣工、令和4年12月に飲食物販棟、立体駐車場、イズミ広場等が完成し、令和5年1月にグランドオープンしました

### 事業名等

庁舎整備事業

### 目的

- 新庁舎整備事業により、安全安心を支える庁舎、利便性の高い庁舎、環境にやさしい庁舎をコンセプトに整備する。

### 事業の概要

- 令和3年度に、災害時の防災拠点として活用でき、省エネルギーにも配慮した市役所新庁舎棟が完成しました。
- 令和4年12月に飲食物販棟、立体駐車場、イズミ広場等を整備し、誰もが利用しやすい市役所新庁舎が令和5年1月にグランドオープンを迎えました。

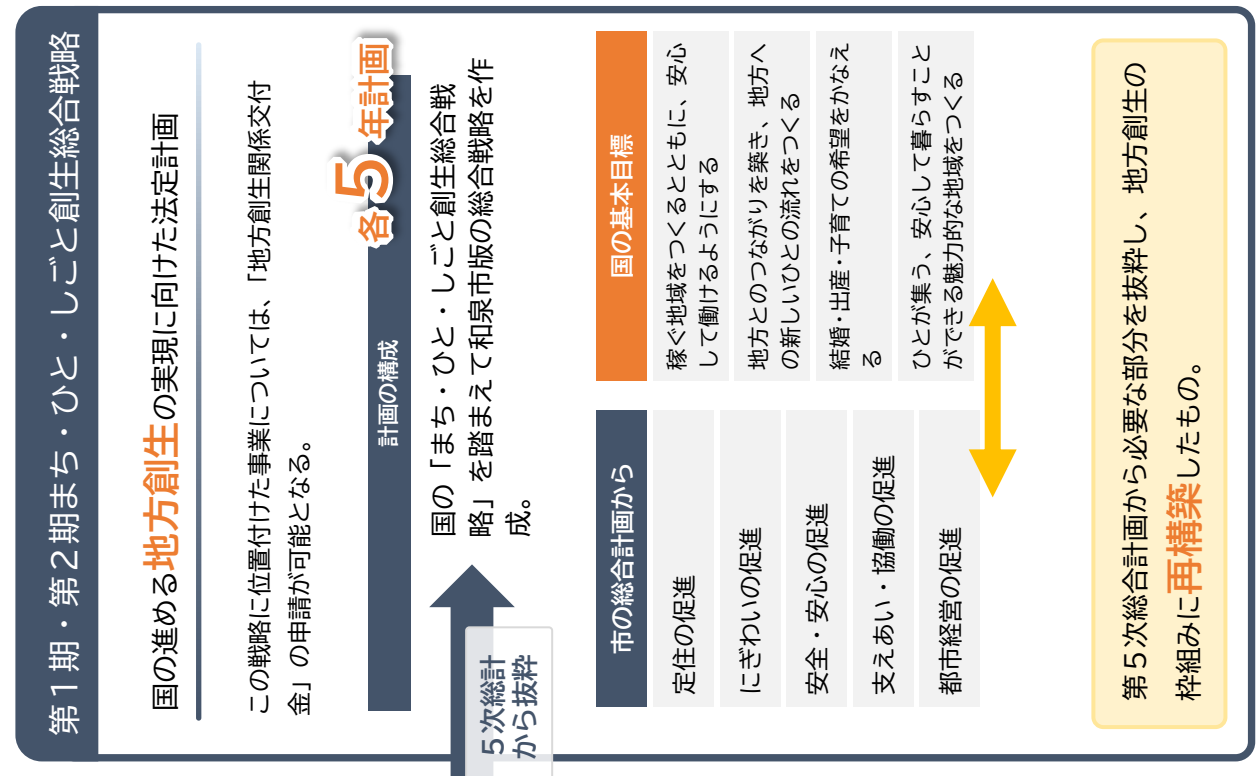
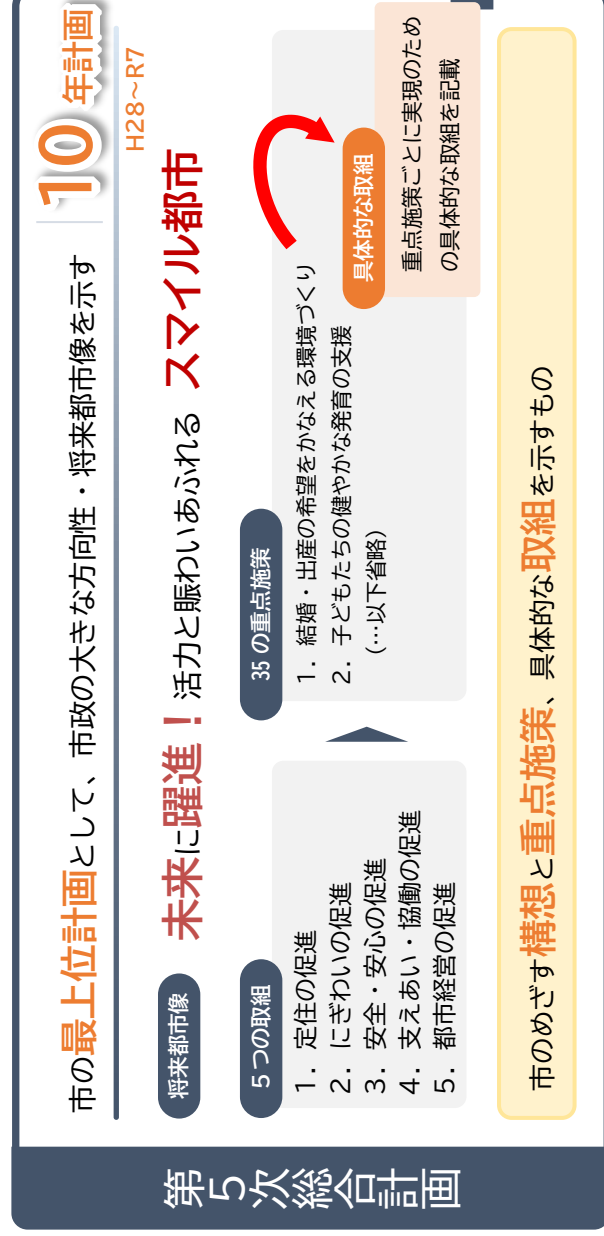
【市役所新庁舎】



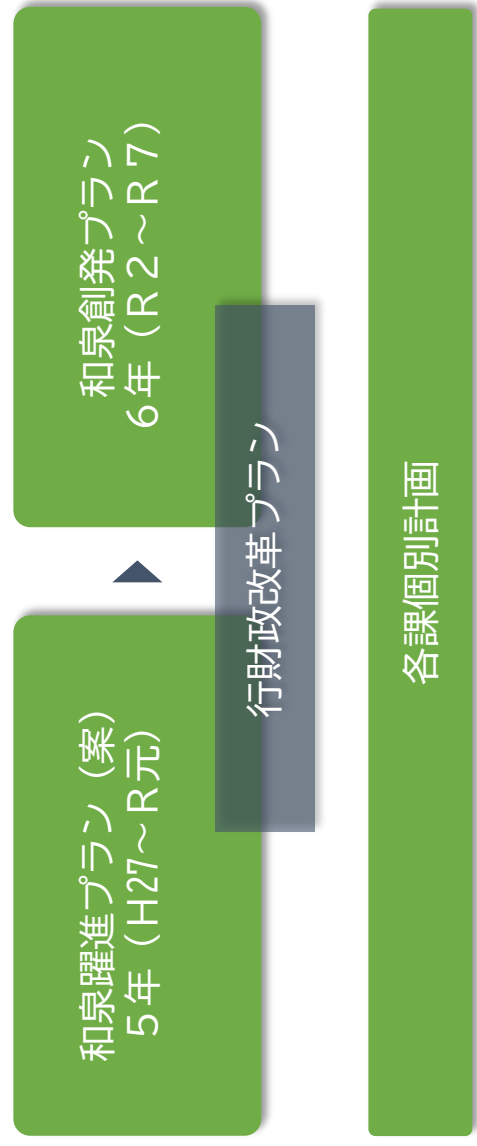
【飲食物販棟（イズミテラス）】



# 第5次総合計画、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の関係



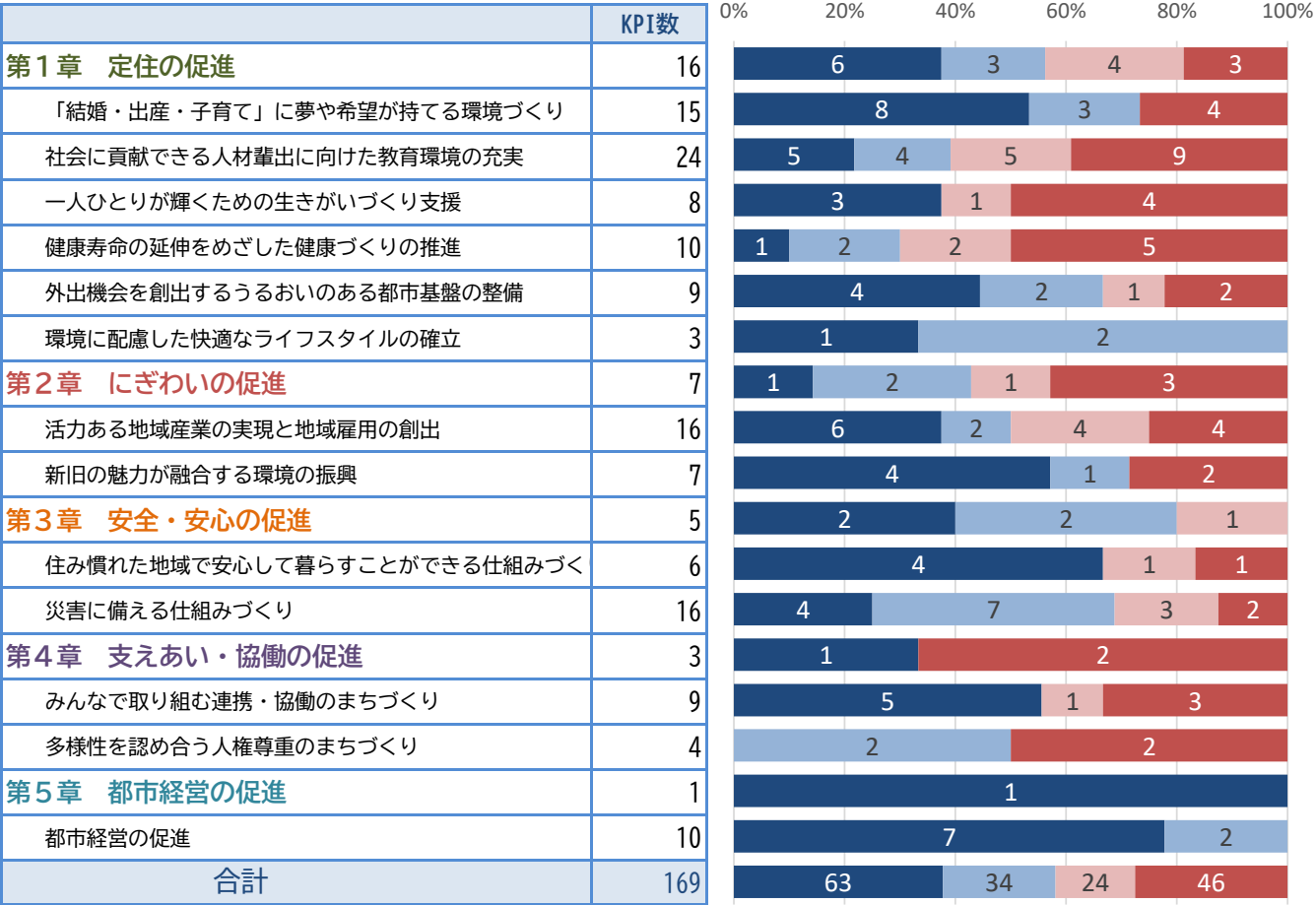
## その他の計画



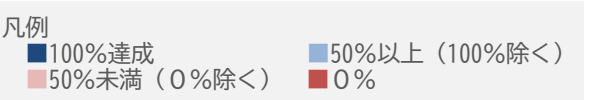


# 第5次総合計画の評価（総括）

## KPIの評価



※第1章の富秋学園整備事業、第5章の市営住宅改修事業については、第5次総合計画期間内に工事が完了しないため、事業として掲載はあるものの数値目標を設定していません。そのため、KPI数の合計と内訳が一致しません。



全体で169あるKPIのうち、達成状況が50%以上となった指標は **97** 指標（構成比 **57.4%**）となった。  
一方、進捗が見られなかった指標も **46** 指標（構成比 **27.2%**）となった。

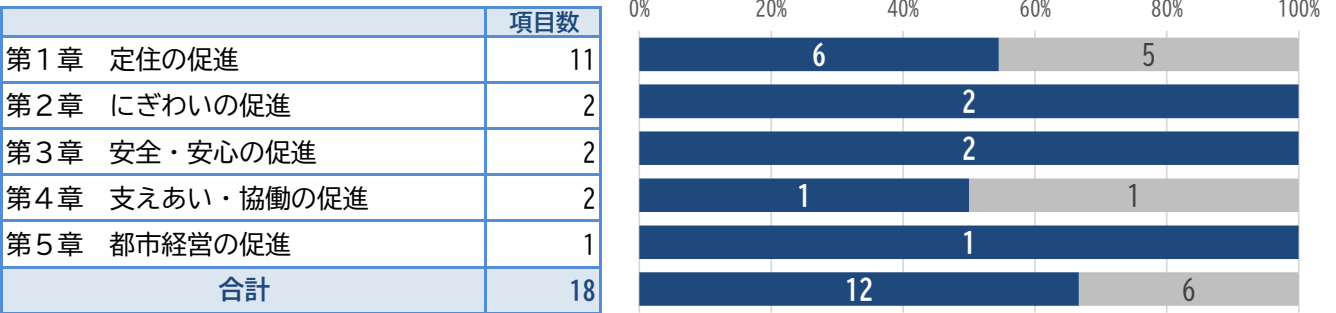
## 市民アンケートの評価

市民アンケート（毎年実施、直近は令和7年1月）

- 対象 18歳以上の市民3,000人
- 回答数 1,285件（42.8%）

・回答方法 郵送またはWebフォームでの回答

令和6年度調査結果（達成率が50%以上の項目数）



市民アンケート項目のうち、達成状況が50%以上となった指標は **12** 指標（構成比 **66.7%**）となった。

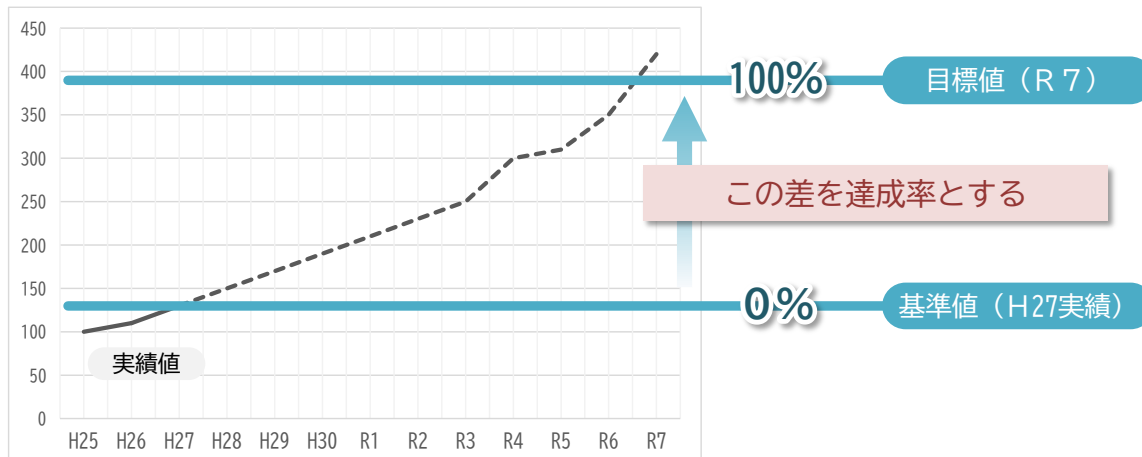


## 第5次和泉市総合計画（改訂版） 成果指標一覧

### KPIの達成率の考え方

#### 当初策定時（H27）

（例） KPI：〇〇施設への来訪者数（人）



#### 改訂時（R2）

- ・策定時に設定したKPIの継続を基本としながら、KPIそのものや目標値を再設定した
- ・新規事業等を新たに設定した場合は、令和2年の実績値を「基準値」とした。

### 市民アンケートの達成率の考え方

#### 当初策定時（H27）

- ・市民アンケート（18歳以上の市民3,000人から無作為抽出）の肯定的な評価を10年で10%向上させる

#### 改訂時（R2）

- ・令和2年の実績を基準に、後半5年で肯定的な評価を5%向上させることを目標とする

令和2年に基準値を見直した一方、本資料では「第5次総合計画」の10年間の進捗を示す目的から、次ページ以降では、「設定当初の基準値」を記載しています。このため、目標値が基準値未満となっている場合があります。

## 第1章 定住の促進

### 第1節 結婚・出産の希望をかなえる環境づくり

#### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
合計特殊出生率	-	1.33 (H26年度)	1.14 (R5年度)	1.19 (R5府内平均)	0.0%	
社会動態(転入者数－転出者数)	人	転出超過 (▲380)	転入超過 (+510)	均衡	100.0%	
安心して子育てができる環境が整っている と思う市民の割合	%	41.8	60.2	60.0	100.0%	

#### <KPIの達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
子育て世代移住・定住バスツアーの年間参加組数	組	0 (R2年度)	43	10	100.0%	移住定住支援事業
定住施策として実施する補助事業対象者の 市内定住率(令和3年度～令和7年度)	%	100 (R4年度)	100	100.0	100.0%	結婚新生活支援事業
妊婦健康診査の利用率	%	87.3	87.2	92.0	0.0%	妊婦健康診査費用公費負担事業
乳幼児健康診査受診率 (4か月児、1歳6か月児、3歳6か月児健康 診査)	%	93.7	96.2	95.0	100.0%	乳幼児健康診査事業
日本脳炎、BCG、麻しん・風しんの接種率	%	86.5	94.8	97.0	79.0%	主要予防接種受診率向上事業
こども医療費助成の対象年齢拡大	-	(通院)小5まで (入院)中3まで	(通院・入院)年 度末年齢18歳 まで	(通院・入院)年 度末年齢18歳 まで	100.0%	こども医療費助成事業
保育コンシェルジュ開設日数	日	166 (R2年度)	227	243	79.2%	利用者支援事業
年間保健指導数	件	12,496	16,253	15,500	100.0%	母子健康教育相談・訪問指導事 業
ふたば・第2ふたば幼児教室の待機児童数	人	41	0	0	100.0%	ふたば・第2ふたば幼児教室運営 事業
児童虐待等の養育課題が見られる児童の うち状況が安定し支援を終結した児童数	件	252	576	450	100.0%	子育てなんでも相談事業
地域子育て支援事業の1日当たりの利用者 数	人	243	183	300	0.0%	地域子育て支援拠点施設事業
地域主催の教育講演会・イベント及び見守 り活動等への参加者数	人	10,538	7,296	14,000	0.0%	我が町の子どもを育てよう事業 小中一貫教育推進事業
放課後子ども教室の実施校区数	校区	15	13	21	0.0%	放課後子ども教室推進事業
保育所等利用待機児童数	人	27	2	0	92.6%	民間保育所等整備補助事業
留守家庭児童会の待機児童数	人	0	0	0	100.0%	留守家庭児童会運営事業

#### 達成度を踏まえた総括

合計特殊出生率については、令和4年は1.24と高い数値でしたが、令和5年は1.14となり府内平均を下回りました。子育てしやすい環境を築いていくため、更なる取組が必要と考えられます。

社会動態については、令和6年度の時点では転入超過となっています。新たな転入促進のための下地が減少してきているため、市の魅力を向上させ、転入促進・転出抑制に努めていく必要があります。

「こども医療費助成の拡大」や妊娠・出産期における相談(保健指導)体制の充実に一定の評価をいただけたことで、「安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合」が向上したものと考えられます。

## 第2節 社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実

### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
小・中学校における教育環境が整っている と思う市民の割合	%	41.1	45.6	55.0	32.4%	

### < K P I の達成度 >

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
保育所、認定こども園、幼稚園職員を対象 にした研修の参加のべ人数	人	850	864	1,200	4.0%	保育園・幼稚園等職員研修事業
全国学力・学習状況調査の結果 の平均正答率 対全国比 (上段:小学生、下段:中学生)	%	0.947	0.984	1.060	32.7%	学力向上対策事業 いずみ希望塾運営事業 (学習支援・居場所づくり事業)
		0.970	0.922	1.010	0.0%	
年度末学校図書館調査における市の児童 生徒一人あたりの年間貸出冊数 (上段:小学生、下段:中学生)	冊	70.1	60.6	71.0	0.0%	小中学校図書館教育推進事業
		16.0	5.8	16.5	0.0%	
槇尾学園の完成		-	令和7年 3月完成	令和7年3月完 成	100.0%	(仮称)槇尾学園整備事業
全国学力・学習状況調査児童質問紙「授業 の内容はよく分かりますか」(小学校:国語・ 算数、中学校:国語・数学)の肯定的な回答 の割合 (上段:小学生、下段:中学生)	%	79.1	86.1	90.0	64.2%	教職員人材育成事業
		70.6	79.8	80.0	97.9%	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の 「市内の体力合計点」の平均値 対全国比 (上から小5男子、小5女子、中2男子、中2 女子)	%	0.97	0.98	1.01	25.0%	体力・運動能力向上事業
		0.97	0.99	1.01	50.0%	
		0.95	0.97	1.01	33.3%	
		0.92	0.98	1.01	44.4%	
学校給食がおいしいと感じている児童・生 徒の割合	%	91	95.1	92	100.0%	学校給食充実事業
		-	-	令和9年3月完 成	-	(仮称)富秋学園整備事業
自分には、よいところがあると思っている 子どもの割合(全国学力・学習状況調査 児童・生徒質問紙調査の肯定的回答に基づ く) (上段:小学生、下段:中学生)	%	72.8	82.0	80.0	100.0%	豊かな心の教育推進事業
		55.7	73.9	70.0	100.0%	
小学校におけるいじめの解消率	%	78	68	95	0.0%	スクールカウンセラー派遣事業
市内小中学校の不登校児童生徒数の割合 (上段:小学生、下段:中学生)	‰	7.0	20.7	5.2	0.0%	不登校対策・相談支援事業
		34.5	62.4	30.5	0.0%	
子ども一人当たりの市立図書館児童図書 貸出冊数	冊	17	14	20	0.0%	子どもの読書活動推進事業
市内全中学校3年生の英検3級程度以上の 英語力を有すると思われる生徒の割合	%	42.2 (R元年度)	49.7	55.0	58.6%	英語能力検定推進事業
交換学生派遣事業参加者の国際交流事業 等参加率	%	19 (R元年度)	10	60	0.0%	交換学生派遣事業
「日本と世界の子どもの作品展」応募作品 数(市内)	点	35	98	60	100.0%	日本と世界の子どもの作品展
世界の文化講座(文化バスツアーを含む) における年間受講者数	人	50 (R元年度)	39	100	0.0%	国際交流事業

### 達成度を踏まえた総括

学校教育については、「授業の内容はよく分かりますか」や「自分には、よいところがあると思っている子どもの割合」が向上するなど一定の評価を得た反面、全国学力・学習状況調査の結果や不登校児童生徒の割合等は目標に届きませんでした。この結果、重点施策全体としての評価「小・中学校における教育環境が整っていると思う市民の割合」については、約4割の達成度となりました。

### 第3節 一人ひとりが輝くための生きがいがづくり支援

#### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
和泉市人材データバンクへの登録	人	39	55	80	39.0%	
生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合	%	33.5	33.9	40.0	6.2%	
和泉市の歴史文化に誇りをもっている市民の割合	%	50.9	54.7	50.0	100.0%	

#### < K P I の達成度 >

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
各種生涯学習講座等の年間参加者数(和泉市コミュニティセンター、和泉シティプラザ、和泉市生涯学習サポート館、和泉市立青少年の家)	人	41,485	35,654	46,000	0.0%	生涯学習活動促進事業
日本語サロンの在住外国人の受講者参加人数(延べ数)	人	932 (R元年度)	1,769	1,200	100.0%	識字施策推進事業
いずみ市民大学における年間受講者数	人	598 (R元年度)	751	675	100.0%	いずみ市民大学事業
成人教室の年間修了者数	人	51	50	61	0.0%	成人教室事業
図書館年間入館者数	人	1,005,583	671,213	869,000	40.8%	図書館管理運営事業
市民文化祭に参加している市民の延べ人数	人	9,550	13,607	10,500	100.0%	市民文化祭事業
いずみの国歴史館、信太の森ふるさと館への年間来訪者数	人	16,419	10,020	19,000	0.0%	いずみの国歴史館活性化事業 信太の森ふるさと館活性化事業
久保惣記念美術館の年間来館者数	人	23,161	20,744	35,000	0.0%	研究発表展事業 文化芸術普及促進事業 広報活動事業

#### 達成度を踏まえた総括

「日本語サロンの在住外国人の受講者参加人数」や「いずみ市民大学における年間受講者参加人数(延べ数)」など、学びへの意欲の向上が見られましたが、「和泉市人材データバンクへの登録」については増加傾向にあるものの達成率は39%となり、「生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合」の達成率はほぼ横ばいとなり、更なる向上が求められていることが伺えます。

「和泉市の歴史文化に誇りをもっている市民の割合」については達成率100%となりました。目標値については、計画期間前半にアンケート結果が低迷していたため、令和2年の総合計画審議会を経て目標値を下方修正したため基準値未満の値が目標値となっています。しかし、計画後半で指標が上昇し、目標値を大きく超える結果となりました。なお、改訂前の目標値「61.0」に対しても7割程度の達成率となっています。

#### 第4節 健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進

##### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
国民健康保険にかかる医療費の総額に占める生活習慣病にかかる医療費の割合	%	34.4	30.2	29.0	77.8%	
要介護認定を受けていない後期高齢者の割合	%	70.6	67.4	70.0	0.0%	
健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合	%	64.6 (R2年度)	69.7	65.0	100.0%	

##### < K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
がん検診受診率(胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん)	%	20.0	21.8	40.0	9.0%	がん検診受診勧奨事業
前年度のメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者・予備群のうち、当該年度において対象外となった人の割合	%	33.5 (R元年度)	28.5	35.0	0.0%	特定健康診査受診勧奨事業 特定保健指導利用促進事業
「ヘルスアップサポーターいずみ」の年間地域活動回数	人	1,047	1,081	3,100	1.7%	ヘルスアップサポーターいずみ養成・活動支援事業
スポーツイベント等の年間参加者数	人	6,308	2,893	14,000	0.0%	スポーツイベント推進事業
スポーツ施設の年間利用者数	人	540,296	489,852	578,000	0.0%	体育施設利用促進事業
体育協会の加盟者数	人	10,862	6,980	11,000	0.0%	体育協会運営費補助事業
住民自主グループによる介護予防体操における年間参加者実人数	人	253	2,205	2,400	90.9%	地域介護予防活動支援事業
認知症予防教室の延べ参加者数(令和3年度～令和7年度)	人	84	1,250	2,100	57.8%	認知症予防教室開催事業
老人クラブの登録者数	人	14,536	10,612	13,100	0.0%	老人クラブ加入促進事業
高齢者おでかけ支援事業の年間利用率	%	40.33 (R2年度)	59.35	50.0	100.0%	高齢者おでかけ支援事業

##### 達成度を踏まえた総括

「国民健康保険にかかる医療費の総額に占める生活習慣病にかかる医療費の割合」は、一定程度低下したものの、達成には至りませんでした。  
「前年度のメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者・予備群のうち、当該年度において対象外となった人の割合」が思うように上がらなかったことなど、疾病を未然に防ぐ予防医療をより推進していく必要があると考えられます。

「要介護認定を受けていない後期高齢者の割合」の向上をめざしましたが、介護予防体操や認知症予防教室への参加率が思うように上がらなかったこともあり、基準値とほぼ同値に留まる結果となりました。

「健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合」は目標値を超える結果となり、スポーツ等を行う環境は整備できていることがわかります。ただし、イベントや施設利用者数は想定には至らなかったため、更なる利用促進に取り組む必要があります。

## 第5節 外出機会を創出するうるおいのある都市基盤の整備

### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
良好なまちなみや快適な住環境づくりが進んでいると思う市民の割合	人	45.4	55.6	55.0	100.0%	
公園等の緑に接する環境が整っていると思う市民の割合	%	51.5	60.0	65.0	63.0%	
安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合	%	35.8	40.8	40.0	100.0%	

### <K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
都市公園の開設面積	ha	144.5	157.5	155.2	100.0%	都市公園整備事業
貴重動植物の数	種類	6	5	6	0.0%	信太山丘陵市有地貴重動植物モニタリング事業
市民などによる花壇管理面積	m	59.7 (R2年度)	307.6	120	100.0%	いずみみどりの共生事業
信太山丘陵里山自然公園の開設面積	ha	0 (R2年度)	2.3	2.2	100.0%	信太山丘陵里山自然公園整備事業
特定経路のバリアフリー化整備率	%	40.0	68.3	85.0	62.9%	道路改良事業
市内におけるこどもの事故死傷者数	人	45 (R元年度)	62	27	0.0%	交通安全施設整備事業
市内における歩行者及び自転車による交通事故発生件数	件	263	228	180	42.2%	交通安全啓発実施事業
空家解消延べ件数	件	9 (R元年度)	101	60	100.0%	老朽危険空家除却推進事業 空家相談会事業
コミュニティバス等年間利用者数	人	124,323	105,849	118,100	67.8%	コミュニティバス等運行事業

### 達成度を踏まえた総括

「良好なまちなみや快適な住環境づくりが進んでいると思う市民の割合」は目標値の55%を超える結果になりました。

「公園等の緑に接する環境が整っていると思う市民の割合」は、都市公園の開設面積の増加や信太山丘陵里山自然公園の開設等により一定の向上を見せ、約6割の達成となりました。

交通手段の整備については、バリアフリー化の推進やコミュニティバス等の利用促進に努めましたが、いずれも達成率は芳しくない結果になりました。日常的な維持管理等により「安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合」は増加したことから、市の取組に一定の評価はいただけたものの、さらなる取り組みが必要です。

第6節 環境に配慮した快適なライフスタイルの確立

<数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
環境にやさしい暮らしを営むことができていると思う市民の割合	%	43.9	59.7	65.0	74.9%	
ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われていると思う市民の割合	%	57.2	62.1	70.0	38.3%	
下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができていると思う市民の割合	%	67.6	63.4	65.0	0.0%	

< K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
太陽光発電設備の導入により削減された二酸化炭素(CO2)量	t-CO2	16,806	105,849	190,000	93.0%	太陽光発電設備の導入に関する啓発事業
水洗化率	%	89.7	90.8	90.9	91.7%	水洗化啓発事業
市民1人当たりの年間ごみ排出量	kg	292.0	260.2	260.7	100.0%	ごみ減量啓発事業

達成度を踏まえた総括
市民一人あたりの年間ごみ排出量が減少し、目標達成となりましたが、「ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われていると思う市民の割合」は達成率約2割にとどまりました。
「下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができていると思う市民の割合」は、「水洗化率」の向上が見られたものの、目標達成には至りませんでした。
これらの内容や、太陽光発電設備の導入により削減された二酸化炭素量の増加等により、「環境にやさしい暮らしを営むことができていると思う市民の割合」は約60%の達成となりました。

## 第2章 にぎわいの促進

### 第1節 活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出

#### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
「新たに事業化された商品・技術の延べ件数」及び「研究開発に関する国等の補助金延べ採択件数」の合計件数(令和3年度～令和7年度)	件	1 (R2年度)	0	10	0.0%	
商店街組合への延べ新規加入件数(令和3年度～令和7年度)	件	3 (R2年度)	0	20	0.0%	
次世代人材投資事業給付金の年間受給者数	人	4 (R2年度)	2	5	0.0%	
和泉市就職情報フェア、和泉市無料職業紹介における就職者数 (令和3年度～令和7年度)	人	89 (R2年度)	588	520	100.0%	
市内の商工業に活力があると感じる市民の割合	%	19.3	28.4	30.0	85.0%	
市内の農林業に活力があると感じる市民の割合	%	16.8	23.3	25.0	79.3%	

#### < K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
ものづくり技術・商品開発事業補助金を活用した大学等との連携研究の延べ事業件数(令和3年度～令和7年度)	件	5 (R2年度)	24	25	95.0%	ものづくり技術・商品開発支援事業
和泉市産業振興プラザにおけるセミナー及び事業者交流会の年間参加人数	人	156 (R元年度)	71	200	0.0%	販促強化支援事業、中小企業総合力アップ支援事業
創業セミナーの年間受講者数	人	97 (R元年度)	100	130	9.1%	創業支援事業
商店街内への新規出店者に対する補助金の年間交付件数	件	4 (R元年度)	0	5	0.0%	創業支援事業
商店街加入店舗数	件	190	308	341	78.1%	商店街活性化事業
テクノステージ和泉における企業の立地割合	%	100.0	100.0	100.0	100.0%	産業集積促進事業
トリヴェール和泉西部地区における企業の立地割合	%	95.1	100.0	100.0	100.0%	産業集積促進事業
エコ農産物の申請栽培面積	a	4,565 (R元年度)	5,766	5,200	100.0%	地産地消推進事業
農業関係団体が実施する各種研修会等の受講者数	人	115 (R元年度)	139	120	100.0%	6次産業化促進事業
農業体験交流施設の年間利用者数	人	38,262	36,390	43,000	0.0%	都市農村交流事業
いずもくの年間搬出量	m³	0 (R元年度)	464	300	100.0%	市内産木材ブランド化推進事業
中小企業振興対策事業補助金(人材育成支援事業)の年間交付件数	件	9 (R元年度)	14	20	45.5%	中小企業振興対策事業
認定農業者数	人	77	72	80	0.0%	農業担い手育成事業
和泉市就職情報フェアの年間面接者数	人	45 (R元年度)	47	50	40.0%	和泉市就職情報フェア事業
和泉市無料職業紹介センターにおける年間紹介者数	人	220 (R元年度)	504	220	100.0%	和泉市無料職業紹介センター事業
奨学金返還支援制度を活用した市内企業への就職者数	人	8 (R元年度)	9	25	5.9%	和泉市奨学金返還支援事業

#### 達成度を踏まえた総括

「和泉市就職情報フェア、和泉市無料職業紹介における就職者数」は就職情報フェアにおける面接者や無料職業紹介センターでの紹介件数も多かったことから、地域雇用の創出に関しては目標値を超える結果になりました。

「市内の商工業、農林業に活力があると思う市民の割合」については、テクノステージを始めとした企業誘致や、エコ農産物の栽培促進等に取り組み、一定の成果を得たものの、大きな向上は見られませんでした。

第2節 新旧の魅力が融合する観光の振興

<数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
市内主要15施設への来訪者数	人	1,201,846	1,260,050	1,595,000	14.8%	

< K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
いずみの国観光おもてなし処の年間来館者数	人	14,451	22,496	21,000	100.0%	おもてなし処来館促進事業 おもてなし処訪日旅行者来館促進事業
国史跡池上曽根史跡公園、国史跡和泉黄金塚古墳等への年間来訪者数	人	116,317	58,611	125,000	0.0%	史跡公園活性化事業 史跡整備事業
池上曽根史跡公園及び大阪府弥生博物館来館者数	人	62,281 (R2年度)	90,385	113,800	54.6%	ヒストリータウン事業
地域通訳案内士及び市民地域ボランティアガイドの延べ育成数	人	0 (R2年度)	63	30	100.0%	市民地域ボランティアガイド育成事業
宿泊施設の延べ建設数(令和3年度～令和7年度)	件	1 (R2年度)	2	2	100.0%	宿泊施設誘致事業
和泉・久保惣ミュージアムタウンエリア内主要施設への来訪者数	人	429,200 (R元年度)	417,092	535,000	0.0%	和泉・久保惣ミュージアムタウン推進事業
南部リージョンセンター道の駅における農産物等売り上げ額	千円	147,000 (R元年度)	395,480	336,000	100.0%	道の駅利用促進事業

達成度を踏まえた総括
「市内主要15施設への来訪者数」については、達成には至りませんでした。おもてなし処の来館者数の増加や宿泊施設の誘致、道の駅のリニューアルなど来訪者数の増加をめざした施策は一定の効果をあげましたが、今後は新たな施設整備等により来訪者数の向上を図る必要があります。

### 第3章 安全・安心の促進

#### 第1節 住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり

##### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
総合医療センターにおける救急患者の受入れ率	%	8.5	24.8	40.0	51.7%	
高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合	%	27.9	33.9	35.0	84.5%	
市内における大阪重点犯罪件数及びオートバイ盗・自転車盗件数	件	379 (R2年度)	526	420	100.0%	

##### <KPIの達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
総合医療センター救急患者受入日数	日	0	365	365	100.0%	和泉市立総合医療センター救急医療事業
高齢者見守り協力事業所の登録件数	件	90 (R2年度)	223	200	100.0%	高齢者見守り協力事業所ネットワーク事業
サービス等利用計画のうち、セルフプラン作成割合	%	27.9 (R元年度)	31.9	20.0	0.0%	障がい者地域自立支援協議会等運営事業
就労訓練事業・就労体験の年間延べ利用者数	人	3	121	26	100.0%	生活困窮者就労訓練・体験事業
地域見守りの年間活動日数	日	242	247	243	100.0%	防犯ボランティア活動活性化事業
防犯教室・防犯啓発の年間活動回数	回	95	100	117	22.7%	防犯啓発事業

##### 達成度を踏まえた総括

総合医療センターについては、新病院の建設や救急受入態勢の充実に努めたものの、入院病床の満床が続いており新規の救急患者を受け入れられず、受入れ率が低下しました。

「高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合」については、上記の総合医療センターの充実に加え、高齢者見守り協力事業所の登録のなどKPIの進捗は順調であったため、目標の8割程度の達成率となりました。

## 第2節 災害に備える仕組みづくり

### <数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
自主防災組織の設立数	団体	40	92	147	48.6%	
地震や台風等の災害に対する備えができていると思う市民の割合	%	18.1	36.2	35.0	100.0%	

### < K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
防災訓練の年間実施回数	回	26 (R元年度)	49	44	100.0%	自主防災組織等支援事業
支援者が避難行動要支援者名簿を活用して活動を行っている割合	%	0.0	32.6	35.0	93.1%	避難行動要支援者支援事業
外国人市民向け防災講座の年間受講者数	人	0 (R2年度)	0	30	0.0%	外国人市民防災啓発事業
地域活動拠点の登録箇所数	箇所	66 (R2年度)	102	60	100.0%	地域活動拠点備蓄支援事業
感染症対策物資(マスク)の備蓄数	枚	38,740 (R2年度)	66,000	67,590	94.5%	感染症対策物資備蓄事業
戸別受信機の設置台数	台	169 (R元年度)	231	1,044	7.1%	防災情報伝達体制整備事業
中小企業BCP策定支援セミナーの参加者数(延べ数)	件	0 (R2年度)	48	60	80.0%	中小企業BCP策定支援事業
新消防本部庁舎完成	-	-	消防本部庁舎完成	消防本部庁舎完成	100.0%	北西部地域公共施設再編成事業
消防団員数	人	362	346	370	0.0%	消防団加入促進事業
火災件数(過去5年間の平均値の件数)	件	43	37	32	54.5%	火災予防事業
救命入門コースの年間受講者数	人	127	1,381	1,000	100.0%	応急手当普及啓発事業
民間建築物の耐震化率	%	83.2	89.1	95.0	50.0%	既存建築物耐震化推進事業
耐震管率(耐震管+耐震適合管)	%	38.2	44.9	47.2	74.4%	水道管耐震化事業
雨水管整備面積の割合	%	48.91	49.20	49.23	90.6%	雨水管整備事業
防災協力農地指定箇所数	箇所	3 (R元年度)	6	21	16.7%	防災農地設置事業

### 達成度を踏まえた総括

災害対策については、防災訓練実施数の増加や要支援者に関する名簿の作成、地域活動拠点の登録などの取組を行いました。自主防災組織の設立数は、一定増加したものの目標達成には至りませんでしたが、「地震や台風等の災害に対する備えができていると思う市民の割合」は目標を達成できました。

## 第4章 支えあい・協働の促進

### 第1節 みんなで取り組む連携・協働のまちづくり

<数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
町会連合会組織への加入率	%	59.4	44.6	58.0	0.0%	
町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合	%	42.3	37.6	50.0	0.0%	

< K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
市民ラウンドテーブルにおける年間延べ参加人数	人	61	91	160	30.3%	市民ラウンドテーブル実施事業
市民活動支援制度年間支援団体数	団体	37 (R元年度)	37	62	0.0%	市民活動推進支援事業
ボランティア年間需給調整数	件	180	124	290	0.0%	ボランティア活動支援事業
空家バンクのマッチング件数	件	1 (R2年度)	8	5	100.0%	空家バンク事業
和泉市地域福祉総合相談員(CSW)の地域連携活動数	件	208	284	220	100.0%	和泉市地域福祉総合相談員(CSW)配置促進事業
和泉市認知症高齢者等SOSおかえりネットワーク見守り登録者数	人	652	1,785	1,500	100.0%	SOSおかえりネットワーク事業
全国学力・学習状況調査 生徒質問紙「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の肯定的回答の割合 (上段:小学生、下段:中学生)	%	54.7	80.8	60.0	100.0%	いずみあいさつ運動事業
		35.7	72.6	40.0	100.0%	
青少年を非行から守る月間事業に参加している市民の数	人	303	0	300	0.0%	青少年を非行から守る市民大会開催事業

#### 達成度を踏まえた総括

市民活動の支援やボランティアの需要調整を進めることで、町会・自治会加入率の向上と、近隣住民の間でのコミュニケーションの活性化を図りましたが、いずれも目標達成とはなりませんでした。

### 第2節 多様性を認め合う人権尊重のまちづくり

<数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
人権が尊重されるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	%	32.6	35.8	35.0	100.0%	

< K P I の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
手話等講座及びあいさつサポーター研修の参加者数	人	187 (R元年度)	1,994	2,500	78.1%	手話等講座実施事業 あいさつサポート運動事業
人権啓発講座等への年間参加者数	人	1,648	677	1,920	0.0%	人権啓発講座事業
「モアいずみフォーラム」「男女共同参画週間事業」の定員に対する参加率(平均)	%	106.0	64.1	100.0	64.1%	男女共同参画社会づくりフォーラム事業
和泉市審議会等への女性委員の参画率	%	32.8	32.4	40.0	0.0%	女性委員参画推進事業

#### 達成度を踏まえた総括

手話等講座及びあいさつサポーター研修の参加者数は大きく増加した反面、人権啓発講座等への年間参加者数は大きく減少しました。全体としての目標「人権が尊重されるまちづくりが進んでいると思う市民の割合」については目標を達成することができました。

第5章 都市経営の促進

第1節 都市経営の促進

<数値目標の達成度>

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	備考
市政の情報を十分に得ることができていると思う市民の割合	%	57.5	47.2	45.0	100.0%	

< K P I の達成度 >

成果指標(KPI)	単位	基準値 (H27年度)	R6年度	目標値 (R7年度)	達成率	取組事業
道路橋の延べ修繕補修橋梁数(令和3年度～令和7年度)	橋	2 (R2年度)	7	8	83.3%	道路橋長寿命化修繕事業
道路の延べ舗装修繕補修区間数(令和3年度～令和7年度)	区間	2 (R2年度)	14	10	100.0%	道路舗装修繕事業
未利用地の売却率(令和3年度～令和7年度)	%	▲4.8 (R2年度)	18.9	100.0	22.6%	未利用地解消事業
市営住宅長寿命化計画に基づく、建替え戸数(令和3年度～令和7年度)	戸	-	0.0	346 (170戸に集約)	-	市営住宅改修事業
経常収支比率	%	95.3	94.7	95.0	100.0%	経常的経費抑制事業
市税の徴収率	%	96.44	98.84	99.14	88.9%	納税催告事業 納付推進事業
新たに資格を取得した延べ職員数	人	0	169	100	100.0%	職員資格取得推進事業
各種証明書に係る電子申請等の利用率	%	5 (R2年度)	42	15	100.0%	DX推進事業
個人情報の訂正・削除件数(請求に基づくもの)	件	0	0	0	100.0%	個人情報保護事業
窓口対応の安心感及び満足度	%	84.8	98.5	91.0	100.0%	窓口サービス向上事業
いずみメール・和泉市LINE登録者数	人	12,193 (R元年度)	92,885	25,000	100.0%	市政情報発信事業

達成度を踏まえた総括

市民に行政の情報をダイレクトに届けるため、いずみメールや和泉市公式LINEの登録者の増加をめざしたところ、目標を大幅に超える結果となり、「市政の情報を十分に得ることができていると思う市民の割合」も目標達成となりました。

道路橋の修繕、道路の修繕などを計画的に進めることにより、既存ストックの適正管理の促進に努めてきました。また、市営住宅の建替え戸数については、令和7年に着工を予定していましたが、令和10年に延期されたため、実績は「0」となっています。

## 第5次総合計画 市民アンケート結果

(単位：％)

章	節	重点施策	成果指標（K P I）	参考値	基準値	実績値	目標値	達成率
				H25	R元	R6	R7	
1章	1節	「結婚・出産・子育て」に夢や希望が持てる環境づくり	安心して子育てができる環境が整っていると思う市民の割合	41.8	54.7	60.2	60.0	100.0%
	2節	社会に貢献できる人材輩出に向けた教育環境の充実	小・中学校における教育環境が整っていると思う市民の割合	41.1	47.5	45.6	55.0	0.0%
	3節	一人ひとりが輝くための生きがいづくり支援	生涯学習の機会に親しめる環境が整っていると思う市民の割合	33.5	33.1	33.9	40.0	11.6%
			和泉市の歴史文化に誇りをもっている市民の割合	50.9	44.0	54.7	50.0	100.0%
	4節	健康寿命の延長をめざした健康づくりの推進	健康を保持するための環境が整っていると思う市民の割合	－	62.4	69.7	65.0	100.0%
	5節	外出機会を創出するうえでの都市基盤の整備	良好なまちなみや快適な住環境づくりが進んでいると思う市民の割合	45.4	51.0	55.6	55.0	100.0%
			公園等の緑に接する環境が整っていると思う市民の割合	51.5	57.7	60.0	65.0	31.5%
			安全に利用できる道路や交通手段が整備されていると思う市民の割合	35.8	33.7	40.8	40.0	100.0%
	6節	環境に配慮した快適なライフスタイルの確立	環境にやさしい暮らしを営むことができると思う市民の割合	43.9	57.8	59.7	65.0	26.4%
			ごみのリサイクルが進み、衛生的なまちづくりが行われていると思う市民の割合	57.2	64.1	62.1	70.0	0.0%
			下水道や浄化槽の整備により、衛生的で快適な暮らしを営むことができると思う市民の割合	67.6	59.6	63.4	65.0	70.4%
2章	1節	活力ある地域産業の実現と地域雇用の創出	市内の商工業に活力があると感じる市民の割合	19.3	25.2	28.4	30.0	66.7%
			市内の農林業に活力があると感じる市民の割合	16.8	20.3	23.3	25.0	63.8%
3章	1節	住み慣れた地域で安心して暮らすことができる仕組みづくり	高齢者や障がい者が安心して生活できる環境が整っていると思う市民の割合	27.9	29.7	33.9	35.0	79.2%
	2節	災害に備える仕組みづくり	地震や台風等の災害に対する備えができていると思う市民の割合	18.1	28.6	36.2	35.0	100.0%
4章	1節	みんなで取り組む連携・協働のまちづくり	町会・自治会や近隣住民と十分にコミュニケーションが取れていると思う市民の割合	42.3	44.0	37.6	50.0	0.0%
	2節	多様性を認め合う人権尊重のまちづくり	人権が尊重されるまちづくりが進んでいると思う市民の割合	32.6	29.9	35.8	35.0	100.0%
5章	1節	都市経営の促進	市政の情報を十分に得ることができると思う市民の割合	57.5	41.7	47.2	45.0	100.0%

## 第5次総合計画期間の人口推移

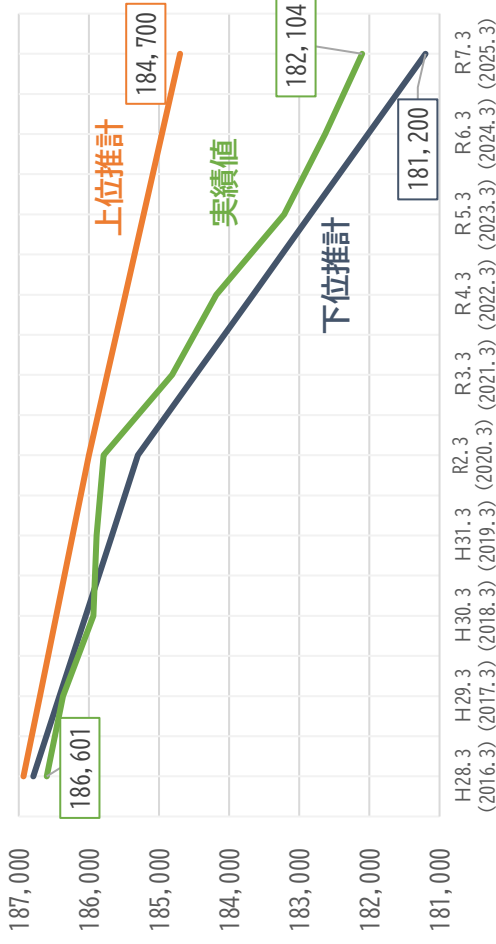
### 本市の人口の推移

推計期間 平成28年（2016年）～令和22年（2040年）の25年間

推計条件 コーホート変化率法とコーホート要因法の複合により作成。

下記の数値設定により上位推計と下位推計を作成した。

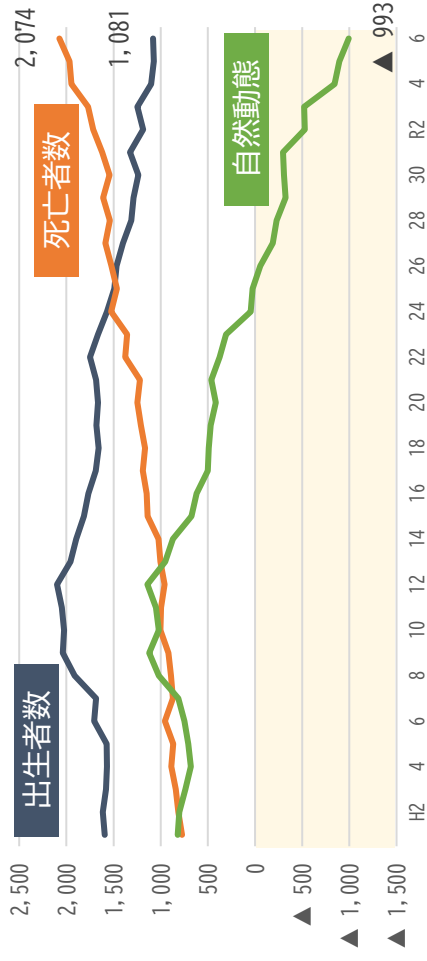
上位推計	合計特殊出生率 R2：1.6、R12：1.8、R22：2.07 全ての世代は転出入均衡
下位推計	合計特殊出生率 H25の値：1.37が継続 20歳代は転出超過、それ以外の世代は転出入均衡



本市の人口は、平成27年度版推計の下位推計に近い動きであり、平成31年3月以降は上位推計と下位推計の間を推移している。

### 人口動態

#### 自然動態（出生・死亡）



#### 社会動態（転入出）

